



# なでしこ

東京都杉並区立大宮中学校 学校だより

令和6年9月30日 第5号(19-79)

発行責任者：校長 関田 誠

『大宮中精神：優しさをもって、夢や目標に向かって、挑戦する若者であれ！』

## 9/8（月）朝礼校長講話 『DOノートマラソンをやる理由』の話 ～二学期のミッション：メタ認知力を伸ばせ～

今年も夏休みのDOノートマラソンの取り組みの表彰を行いました。DOノートにしっかり向き合ったトミー・エドマン(注)な人から、空白状態の「ふざけるな～！」という人まで十人十色でした。この差がどこから出てくるのか一緒に考えましょう。皆さんが取り組んだのは、自分の24時間×45日、1080時間の生活デザインです。こうありたいプランを立てて、それを実行して、どうだったか振り返って、もっと良くなれないかなと頭を捻る。この繰り返しを面白いと思えるか、つまらないかが分岐点です。自分の生活デザインを苦もなく（面白いな～）と思える人はラッキーですが、一日24時間を流れに任せて、明日や少し先の未来に意識がない人は、DOノートに書くことを（面倒くさいな～）という意識から抜け出せません。

なぜ大宮中ではDOノートに取り組んでいるのか。私の考える理由は、DOノートで皆さんの大事な力が自然に伸ばせるからです。皆さん、ブルーロックは知っていますか。私の大好きなブルーロックの主人公、<sup>いさぎ よいち</sup>潔世一が持っている力です。その力は『非認知力』といわれるものです。

『認知力』というのは、定期考査などのテストで数値となって測れる力のことです。知識や技能、思考力、記憶力といったものです。皆さんが授業や学習塾で伸ばしている学力は認知力です。では非認知力、『非』つまり認知力『ではない』ものとは、、、一言でいうとテストで測れない力です。例えば自信、忍耐力、やり抜く力、自己コントロール、創造性、意欲や興味、探求心、リーダーシップ、協調性、思いやり、コミュ力等々。大宮中の総合的な学習の時間で、自ら課題を設定して調べて解決したり、仲間とチームで協働作業を行うことで非認知力は伸びます。また学校行事、部活動や外部の習い事で出来ないことに挑戦することで、非認知力を伸ばしています。将来を生き抜くためには、学力などの認知力に加えて、変化に対応して自ら解決する非認知力は極めて大切です。



by Makoto

DOノートに話を戻すと、DOノートで伸ばせる力は、非認知力の中でも『メタ認知力』といわれる極上のものです。『メタ』とはラテン語で『より高い次元』という意味です。メタ認知力とは自分自身を俯瞰して客観視することができる力です。皆さんがDOノートで取り組むMy生活デザインは、自分自身を高所から見下ろして、より良く生きようとする上質な時間です。これができる人とできない人では人生が天と地ほど変わります。皆さんが生涯使えるスーパーな能力です。私の大好きなブルーロックの主人公、潔世一は高みから振り返るメタ認知力が抜群です。強い敵にぶつかるたびに、フィールドを俯瞰して頭のジグソーパズルを崩したり組みなおしたり繰り返しています。二学期の皆さんのミッションは「メタ認知力を伸ばせ」です。このミッションで毎週金曜日のDOノートタイムも大切に、二学期を新たな気持ちで生きていきましょう。😊

(注：学業と野球を両立するLAドジャース選手。「大切なのは時間の使い方。やるべきことを先にやろう！」がモットー)

## 修学旅行 (第三学年)

9

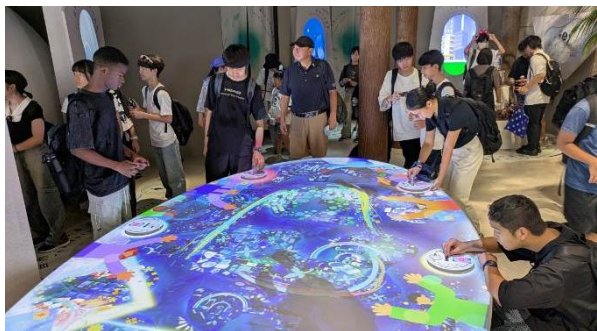
15~17

関西地方（京都、大阪）は東京と変わらず、大変残暑の厳しい三日間の日程でした。熱中症対策として今年度もC&Cdayに準じて、涼しい私服の修学旅行としました。生徒は精力的に活動して、途中たくさん汗をかくては着替えての繰り返しで、サラッと清潔な恰好で過ごすことができました。



今回の生徒のスローガンは『ばんぱくパクパク～美味しい学びでミャクミャク成長～』でした。一日目は京都の班行動で、主に電車を使って、体験学習や見学場所として、二条城、清水寺、伏見稲荷といった、日本の歴史を学べる場所を訪問しました。宿舎は京都駅前のだと茂旅館にお世話になりました。

二日目は、今回の目玉の大阪万博でした。生徒は恐らく一生に一度の見学機会ということで、みな楽しみにしていた場所です。9時半過ぎにバスで会場入りしたのですが、この時間で観客が大勢いてビックリです。大屋根リングの下に人が群れているので何かと思ったら、大人気のイタリア館を五時間待ちで並んでいる人たちでした。それを横目に生徒は、それぞれの班で散開して観たいパビリオンに分かれていきました。11時からパナソニックのノモの国という



人気のパビリオンに集合して、一時間ほど大宮中生独占で見学することができました。優先予約ができて良かったです。その後、生徒は大屋根リングの下などでお弁当昼食を取っていました。午後はどんどん観客が増えて、パビリオンは満員御礼状態で、どうするかなと見ていると、大屋根リングを歩いたり、記念

グッズ販売所でお土産を購入していました。熱中症を避けるために四時間ちょっとの滞在でしたが、猛烈な日差しの下で、生徒はよく頑張っていました。万博会場からはバスで移動して、京都市内の妙心寺で



一転、座禅を組みました。若い僧侶の講話を聴いて、短時間ですが座禅を組んで瞑想のやり方を教わりました。終わった後、「背中を警策という板で叩いてもらう体験をしたい人は残って」と言われて、七割以上の生徒が残ったので驚きました。「強く」「ほどほど」「弱め」とお願いしながら、記念に叩いてもらっていました。勿論私や三年の教員も強く叩いてもらいました。生徒も教員も様々な煩惱が退散して、心が整ったはずです。

三日目は、京都市内を班別でジャンボタクシー行動でした。運転手のガイド付きで効率的に見学場所を回って、昼食を取って13時過ぎに京都駅前に戻ってきました。三日間を通して、生徒は周りの関係者に感謝の気持ちを表しながら、礼儀正しく爽やかに行動して、古都と万博からたくさんの学びを得ていました。帰路の新幹線車内では、ゲームやカードに興じながら、旅の終わりの余韻を楽しんでいました。帰宅後に家族にたくさんの土産話をしてくれたものと信じています。

### 在校生及び大宮中学校へ入学予定の 小学生保護者の皆さまへ

大宮中学校では年3回～4回ほど制服等のリユースを行っています。秋に以下の日程で開催しますので、来年入学されるお子様用にご興味ありましたらぜひ覗きにきてください。

＜日時＞10月4日(土)9:30～11:30頃

10月18日(土)13:00～16:00頃

＜場所＞職員玄関前ピロティ(正門側)

＜内容＞標準制服、体操着、部活用品など

＜お問い合わせ＞厚生委員長 野本

[oomiyachuupta@gmail.com](mailto:oomiyachuupta@gmail.com)

皆様のご利用をお待ちしております。



# 令和7年度 全国学力学習状況の調査 結果報告

【全国学力状況調査】第3学年 4月実施

～今年も三年生が頑張っています！～

			R 6			R 7			今年度の調査の結果は、左表のとおり昨年度に続き、2教科とも高い数値（国語が全国比で4ポイント、数学が9ポイント高）が出ました。これは本校におけるこれまでの学力向上の取り組みに加え、大宮中校区（済美小、大宮小）の継続した取り組みが結実したものです。理科は平均IRTスコア（能力を客観的に評価するための尺度）を載せています。
			国語	数学	英語	国語	数学	理科	
			国語	数学	英語	国語	数学	理科	
本校平均 (全国比)			63.0	66.0	実施なし	58.0	57.0	90.5	
東京都平均			61.0	57.0		57.0	53.0	117.9	
全国平均			58.1	52.5		54.0	48.3	124.0	

【生徒質問項目】

※下の表の数値は「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合計したものです。

	全国より3%以上高い	全国より3%以上低い		本校	都	全国
--	------------	------------	--	----	---	----

## 1 生活習慣について

(1) 朝食を毎日食べていますか。	91.5	90.6	91.2
(2) 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。	75.7	79.5	81.0
(3) 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。	87.2	92.5	92.6
(4) 人が困っているときに進んで助けていますか。	85.7	89.9	90.9

「早寝・早起き・朝ご飯」は基本的な生活習慣です。毎日の寝る時間や起きる時間は規則的にしておくことが望ましいです。原因がスマホ（SNSや動画）やゲームに気持ちを奪われて、就寝時刻が遅くなっている場合は心配です。健康に過ごすためにも、朝ご飯はしっかり食べて、日中は元気に活動し、できるだけ決まった時間に就寝することを心がけましょう。DOノートを活用しながら、一日のリズムを意識して過ごしましょう。

## 2 あなた自身のことについて

(1) 自分には、よいところがあると思いますか。	84.1	86.7	86.2
(2) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	95.1	91.1	92.2
(3) 将来の夢や目標を持っていますか。	61.5	66.3	67.5
(4) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	95.7	95.6	96.6
(5) 学校に行くのは楽しいと思いますか。	84.3	86.5	86.1
(6) 友達関係に満足していますか。	90.0	90.9	91.4
(7) 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。	82.8	79.9	79.2

（2）について、生徒はとても敏感です。「先生に認められた」という満足感は、生徒の成長にとって極めて大切なことです。こうした経験が（4）の「人の役に立ちたい」という感情に通じていきます。一方で（1）の「自分には良いところがありますか」については、全国平均を下回り、自分自身を冷静に客観視している部分があります。もっと自分の良いところを見つけてみましょう。必ずきっとあるはずです。（5）の「大宮中が楽しい」は都、全国平均を若干下回っていますが、令和6年度よりは、確実にアップしています。（7）の「自分と違う意見について考える」については、全国平均、都平均ともに上回っており、大宮中の生徒らしい、他者を受け入れる寛容さがうかがえます。区教育ビジョン『みんなの幸せを創る杉並の教育』を念頭に、大宮中生のwell-being（健康で幸せな状態）が一層高まる教育活動を推進します。

### 3 各教科の授業の内容について

(1)国語の勉強は好きですか。	71.4	58.3	57.9
(2)国語の授業の内容はよく分かりますか。	78.6	78.5	77.0
(3)国語の授業で、先生はあなたの良いところや前よりもできるようになったところはどこか伝えてくれますか。	90.0	71.0	72.9
(4) 国語の授業で、文章を読み、その文章の構成や展開にどのような効果があるのかについて、根拠を明確にして考えていますか。	78.6	77.4	77.0
(5) 数学の勉強は好きですか。	51.5	55.6	53.8
(6) 数学の授業の内容はよく分かりますか。	80.0	72.9	70.3
(7) 数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか。	72.9	77.3	76.2
(8) 数学の授業でどのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか。	70.0	58.0	58.6
(9) 文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、書かれていることを理解することができますか。	70.0	72.1	67.1
(10) 理科の勉強は好きですか。	48.6	61.0	63.8
(11) 理科の授業の内容はよくわかりますか。	51.4	68.6	71.4
(12) 自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見出したりしていますか。	50.0	56.8	56.2
(13)理科の授業では自分の予想（仮説）をもとに観察や実験の計画を立てていますか。	71.4	70.0	70.2
(14)理科の授業で学習した考え方を普段の生活の中で活用できていますか。	48.6	50.3	50.7

「各教科の授業の内容はよくわかりますか」の質問で『よく分かる・まあ分かる』生徒の割合は国語、数学いずれも都、全国平均より高いことが分かります。「数学の解き方が分からない時はあきらめずに、いろいろな方法を考えますか」については、都、全国平均よりも若干低い数値です。一方、理科については、難しい結果となっています。「理科の勉強は好きですか」「理科の授業はよくわかりますか」については、都、全国平均よりも10%以上、IRTスコアも含め、低く課題が残ります。今後も各教科部会で分析・検討し、共通理解を図りながら学習指導をおこなうことで、学習内容について生徒の理解力の向上を目指します。

### 4 学習への取組、学習の中でPC・タブレットなどのICT機器の活用について

(1) 1,2年生の時に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。	68.6	72.2	70.6
(2) 1,2年生の時に受けた授業は自分に合った考え方、教材、学習時間になっていましたか。	85.7	79.7	79.3
(3)1,2年生の時に受けた授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	80.0	78.8	77.7
(4) あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で学校のプレゼンテーションを作成することができますか。	75.7	82.6	76.6
(5) あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成することができますか。	82.9	86.6	83.6
(6) あなたは自分がインターネットを使って情報を収集することができますか。	88.6	92.1	91.5

授業の中で学んだことを生かしながら、解決に向けて取り組むことは全国平均より高いです。大宮中の授業では、自分に合った考え方、教材、学習時間などが自分に合っており、一層粘り強く学ぶ意識を高めていってほしいと思います。一人一台タブレットPCも導入され、当たり前のように多く触れる機会が増加し、電子黒板等のデジタル教材を使ったICTを活用した教育が本校でも進んでいますが、リテラシーをしっかりと身につけ、現状に満足することなくICT機器の一層の活用を図ります。